

鍵善良房コレクション
Kagizen Yoshifusa Collection

鈴木悦郎 生誕100年記念

The 100th Anniversary of Etsuro Suzuki

ひびを たのしく

Enjoy Every Day

2024年11月19日(火)↓

2025年3月9日(日)

10時〜18時 (最終入館は17時半)

ZENBI — 鍵善良房 — KAGIZEN ART MUSEUM

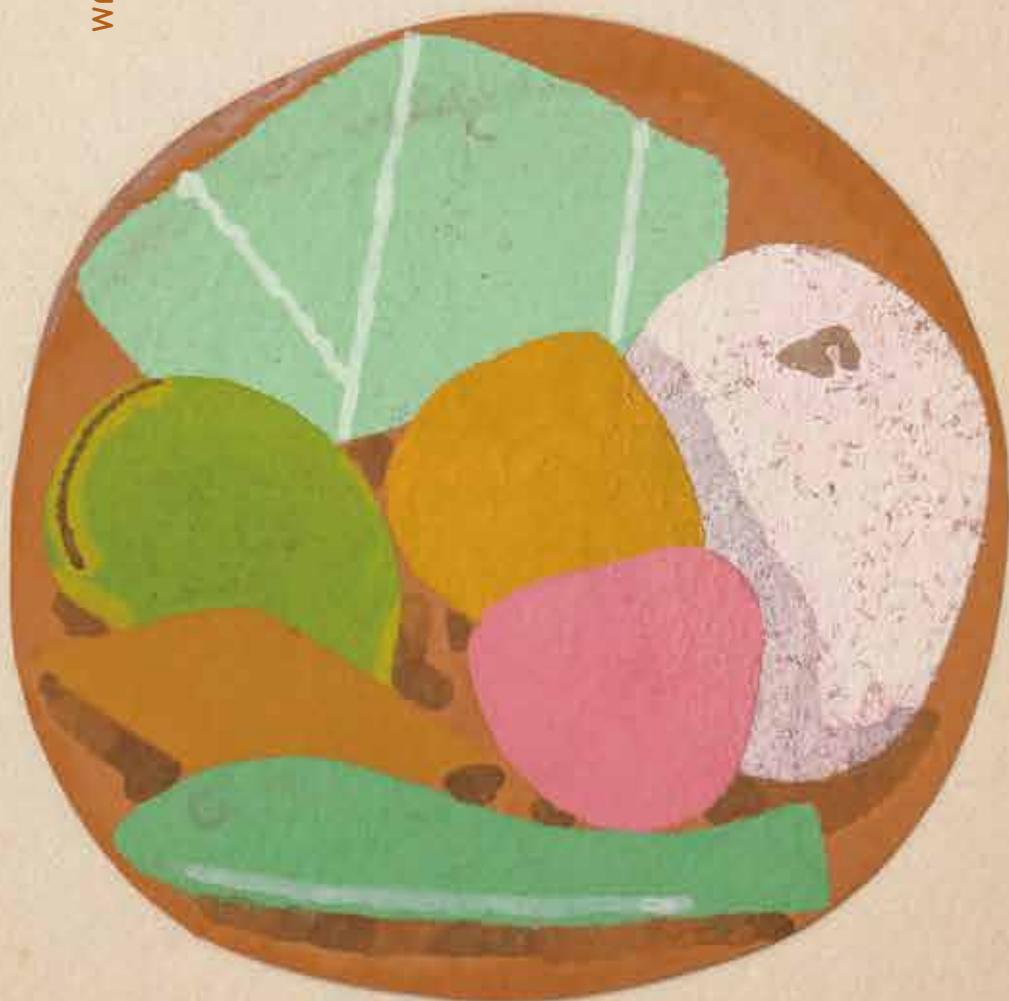
〒605-0074 京都市東山区祇園町南側570-107

TEL: 075-561-2875 | <https://zenbi.kagizen.com/>

入館料：一般1000円／大学・高校・中学700円／小学生以下無料

休館日：月曜日 (祝休日の場合は翌平日)、年末年始 (2024年12月28日〜2025年1月3日)

主催：ZENBI — 鍵善良房 — 京都新聞 特別協力：鈴木寛 企画協力：井村優三 (ムラアートギャラリー)



悦郎

ZENBI
鍵善良房
KAGIZEN ART MUSEUM

鍵善良房コレクション

鈴木悦郎生誕100年記念

ひびを たのしく

戦後の日本を彩り、子どもから大人まで、女性の『あこがれ』が沢山あった中原淳一（1913-1983年）の雑誌『ひまわり』『それいゆ』。その誌面で挿絵を手掛けた主な作家の一人に、鈴木悦郎（1924-2013年）がいます。

昭和から平成にかけて活躍した悦郎は、優しい色合い、繊細な線、愛らしいモチーフが持ち味で、どこか懐かしさを感じさせつつも決して古びない作風が印象的です。

御菓子司鍵善良房で使われている、淡い色目の包装紙を悦郎がデザインしたことは、知る人ぞ知ること。今も残る歴代店主との手紙のやり取りや、時節の挨拶の品々からも、その親交の深さがうかがえます。また悦郎は包装紙や掛け紙だけでなく、菓子のデザインも手がけています。

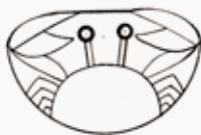
本展では鈴木家協力のもと、鍵善が所蔵する絵画作品を中心に、菓子デザインの原画とその木型も展覧いたします。悦郎が描き出した優しくあたたかい世界に触れていただければ幸いです。



原画《花びら餅》 1980年代 | アクリル | 310mm×420mm



原画《松竹梅》 1980年代 | アクリル | 420mm×1045mm



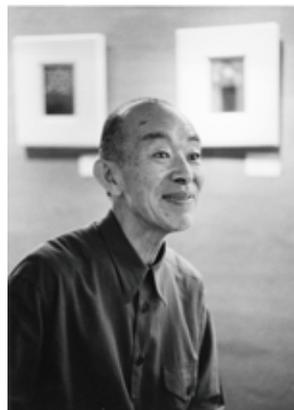
悦郎デザインの
原画と菓子



《みのり》 1985年 | アクリル | 273mm×242mm



《ノクタン》
1998年 | アクリル | 230mm×100mm



すずき・えつろう
鈴木悦郎
(1924-2013年)

東京・浅草生まれ。舞臺美術の仕事を経て、中原淳一のすすめから『ひまわり』『それいゆ』をはじめとする多くの雑誌で挿絵を担当。後年は油絵にも注力し、挿絵だけでなく画家としても活動の幅を広げる。『ぎんのすず』といった絵本の分野でも人気を博し、パレエや舞台のポスターデザインなども手がけた。

画像提供 鈴木寛



《ひいな》 1986年 | アクリル | 273mm×242mm



《陽光》 2001年 | アクリル | 242mm×273mm

お問い合わせ：
ZENBI—鍵善良房—KAGIZEN ART MUSEUM
〒605-0074 京都市東山区祇園町南側 570-107
Tel. 075-564-2875 <https://zenbi.kagizen.com>



京阪本線「祇園四条」駅6番出口より徒歩3分。
阪急線「京都河原町」から徒歩10分。
四条縄手の交差点を南へ、1筋目を東へ約50m左折すく。

ようこそ、
そして
おかえりなさい